



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 うつく い 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和7年9月22日

第10号

ちゅうぶちゅうがっこう きょういく きゃっかんてき こうさつ
中部中学校の教育を客観的に考察します

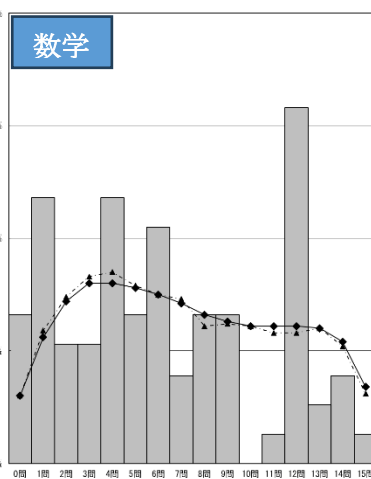
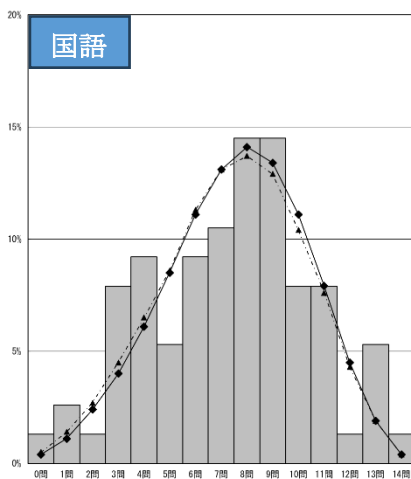
ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか 全国学力・学習状況調査結果の報告



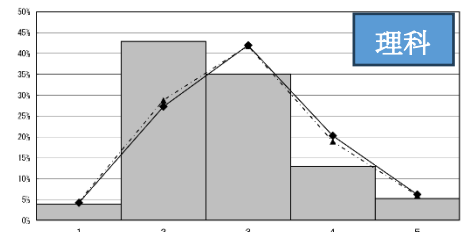
ねんせい たいしゅう じっし 3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査（4月17日実施）の結果（個人の結果ははいふず ほんこうせいと つよ よわ けんしょう 配付済み）と本校生徒の強みと弱みを検証しましたので報告します。この調査で本校生徒の学力のすべてが測定できるものとはかんがえておりませんが、結果をしんしうと がっきこう じゅぎょうかいぜん おこないます。なお、この結果が通知表等の成績にがみされることはありません。

ぜんたい けいこう 全体の傾向 ☆☆

こくご せいとうすう へいきん したまわ 国語の正答数は全国平均をやや下回りました。正答数別の人数分布は全国と同じ傾向にあるものの、さいじょうい すく か い おお 最上位がやや少なく、中下位がやや多い結果となりました。すうがく り か 数学・理科の正答数は、全国をしたまわ下回りました。



人数分布をみると、最上位が少なく、中上位に集まっています。また、中～下位の層が厚く、学力の未定着が見られました。



正答数分布グラフ 縦軸：人数の割合 横軸：正答数 （棒グラフ：中部中 折れ線：全国）

もんだいべつ 問題別の傾向 ☆☆

どの教科においても、問題文を読み取る力が弱いことがわかりました。普段、教員の丁寧な説明に慣れているためか、自分の力で「何を問われているのか」を文章の中から見つけることができなかつたり、「AとB

を比較して答えよ」「図 1 からわかることを説明せよ。」のような条件を見逃したりする生徒が多かったです。

また、下のような問題が苦手なことがわかりました。

- ◆ 2 つ以上の情報（文、グラフ、図）を結び付け、その関係から何かを見つける
- ◆ 複数の情報から、目的に応じて必要なものを選び、解答する
- ◆ 筋道を立てて考え、わかりやすく説明する（短文で終わらない）
- ◆ 与えられた結果（答え）から、なぜ、そうなったのかを説明する



これらのように、「なぜそうなるのか」「どうしてこの答えが正しいのか」を理解せず、「なんとなく・・・」で終わっているようです。また、自分の力で考えるよりも、早く先生に答えを教えてもらいたい・・・と思っている様子うかがえます。

今後の対策 ☆☆

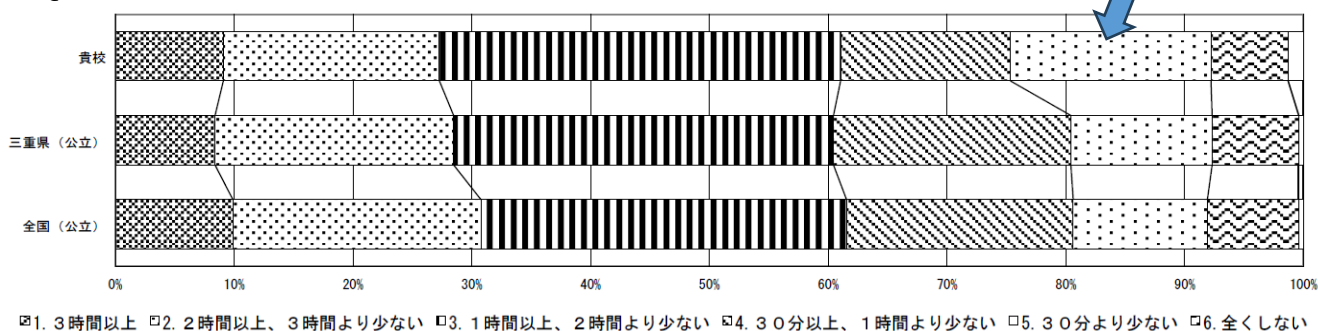
◆学校の対策

- * 「なぜ？」にこだわり、自分の言葉で説明する機会を増やします。
- * 教員が正答を言ってしまうず、黙って待つことを心がけます。
- * 習った知識を活用して考えたり、新たな疑問を思いついたりする機会をつくれます。
- * 「アドじゃん」や「対話」「プレゼン」の機会を通じて、誰かが考えた正解ではなく、自分が考えた答えを自信がなくても言える雰囲気をつくれます。

◆生徒（家庭）の対策

- * まずは、あきらめずに自分でやってみる習慣をつくれます。
- * わからなかったところはそのままにせず、質問をしたり、家でもう一度やってみたりします。
- * 今日勉強した内容を家の人に説明したり、ノートにまとめたりします。（自分流のノートづくり）
- * 長い文章に触れる機会を増やします。（新聞・小説など）

Q.家でどれくらい勉強をしますか



これらは、4 月の調査結果です。9 月のみなさんは確実に成長しています。あきらめず、下を向かず、
全員の力で、弱点を克服していきましょう！！